

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	スタンフォードA型急性大動脈解離に対する手術術式が及ぼす長期予後への影響			
2. 対象患者	2002年から2018年までに弘前大学医学部附属病院心臓血管外科で手術を受けられたスタンフォードA型急性大動脈解離の患者さん			
3. 対象となる期間	2002年1月1日 ~ 2018年 12月 31日			
4. 実施診療科等	胸部心臓血管外科学講座			
5. 研究責任者	氏名	近藤 慎浩	所属	胸部心臓血管外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません			
7. 研究の意義	スタンフォードA型急性大動脈解離に対する手術はこれまで救命が目的とされていましたが救命率の向上に伴い、術後数年してから再度の手術が必要な方がすくなくならずいらっしゃいます。最初の手術の種類により長期の影響が明らかになれば手術方法の選択に有益な情報となります。			
8. 研究の目的	スタンフォードA型急性大動脈解離に対する手術術式の違いによる術後経過の違いを明らかにします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合があります)	当院で手術を受けられたスタンフォードA型急性大動脈解離の患者さんについて以下の情報を診療録(カルテ)から収集し、解析します。 ・CT検査データ(大動脈径や残っている解離した大動脈の状態) ・手術記録(手術内容、使用した機材) ・術後経過や再手術の有無			
10. 個人情報の保護	研究は個人情報を守った上で行われます。また求めに応じて、本研究計画に関する資料を、他の被験者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障のない範囲内で、開示することができます。 1)この研究で得られた結果は、個人情報に関わる情報を切り離した上で(実名を隠し個人が特定できないように、番号などでコード化した上で)、データの解析などに利用されます。また、研究の結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、このような場合でも、個人情報が公表されることは一切ありませんし、研究により得られたデータが他の目的に使用されることもありません。 2)この研究であなたから提供された検査データ等は、この研究のみに使用し、他の目的で使用することはありません。検査データは研究結果公表日から5年まで弘前大学大学院医学研究科 胸部心臓血管外科学講座内の鍵のかかる棚で厳重に保管、匿名化して廃棄いたします。 3)対象となる方から拒否の申し出があった時は、研究対象から除外しデータは削除致します。ただし、すでに匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合はデータの修正は出来ませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。営利団体や企業は関与しませんので本研究の利害関係はありません。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 胸部心臓血管外科学講座			
	電話	0172- 39 - 5074	FAX	0172- 37 - 8340